

様式

常盤高校の活性化・特色化方針
(平成29年度～)

1 学校基本情報

課程	全日制	学科	看護科・看護専攻科	生徒数	(男)10人 (女)389人	計 399人					
ホームページ	http://www.tokiwa-h.spec.ed.jp/										
アクセス	京浜東北線北浦和駅西口3番乗り場より西武バス約20分「大久保行き」「浦和北高校行き」にて「大久保団地東」バス停下車										
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 看護科の3年間と、看護専攻科の2年間の5年一貫教育の看護師養成専門高校。 他の高等学校を終えて看護師養成機関に進むより1～2年早く看護師になれる。 看護科では普通科目と看護に関する科目を、アクティブラーニングを積極的に取り入れ学習する。 看護専攻科では一般教養を高める基礎分野科目を学習するほか、専門分野科目では看護実践のための高度な知識・技術を習得し高度化する医療に対応できるようにする。 5年連続で、看護師国家試験の合格率100%を達成している。 平成26年度より文部科学省スーパーグローバルエッジスクール(SPH)指定校。 										
活躍が顕著な部活動	<ul style="list-style-type: none"> JRC部 青少年赤十字の精神に基づき各自が救急救命技術の向上に努め、エコキャップ回収などの各種ボランティア活動も積極的に行っている。 										
特色ある学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 戴帽式 基礎的な看護教育を終え、専門的な看護教育の課程に入る志を高める。 オーストラリア研修(希望者) 海外における看護の実態を、大学や施設で経験する。 										
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 3者面談を看護科1、3年、専攻科2年で実施。 県内の各病院で看護科1年～3年の合計で8週間、専攻科1～2年合計で18週間実施。 地元の自治会・老人会との交流。「敬老会」を本校で実施。 「夏休み地域活動体験」 看護科1年～3年全員がボランティアや地域を知るための活動に取り組んでいる。 										
進路	状況	四大	4人	短大	0人	専門	1人	就職	66人	その他	0人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> 修了生全員が看護師国家試験を受験し、ほとんどが看護師として県立病院をはじめとする県内の病院に就職する。 									

(生徒数：H30.5.1現在、進路はH30.3卒業生の実績値)

本校の魅力！

看護師になりたいという強い希望を持つ生徒が、互いに励ましあいながら看護師国家試験合格という夢の実現に向けて頑張っています。

- 一般教科の先生は、看護教科との関連性を工夫しながら授業計画を立てています。
- 本校舎4階の看護実習室では、実技試験や病院への臨地実習に向けた実技練習を行います。そのため放課後・長期休業中も多くの看護科の先生がきめ細かく指導しています。
- 2クラス×5学年のこじんまりとした学校ですが、文化祭・体育祭で見せる団結力は目を見張るものがあります。
- SPHではICTを活用した授業や大学教授による講義、大学の施設での実験など、体験的・先進的な取組の機会が多くあります。



在校生からのメッセージ

「諦めない心」。入学してから私が学んだ言葉です。看護教科の授業はスピードが速く、聞きなれない看護専門用語に戸惑い、焦りましたが、友達と一緒に授業の復習をしてくれ、先生もわかりやすく解説してくれました。これからも看護師になるための道のりを仲間と一歩一歩進んでいきたいです。

2 入学者選抜情報

<本校が求める生徒> 看護師になりたいという強い希望を持ち、勉学に熱意のある生徒。心身ともに健康かつ誠実で責任感の強い生徒。

<入学者選抜のポイント> (平成31年度入学者選抜基準より)

学習の記録の得点は1:1:2。第1次選抜では6:4、第2次選抜では7:3で学力検査を重視します。面接を実施し、受験生の将来像と学習意欲について評価します。

3 育成方針（生徒の成長物語）

本校の特色

ミッション 豊かな人間性、確かな知識、高い技術を兼ね備えた看護のスペシャリストの養成
 埼玉県で唯一の看護専門高校
 看護師国家資格試験合格率5年連続100%達成
 平成26年度より文部科学省スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）指定校

《常盤高校のSPHが目指すもの》

看護専門職者としての自覚を促し、生涯にわたって看護の専門性を追求し続ける力を育成する。

生涯学び続ける力

豊かな人間性

確かな知識・技術

科学的思考・判断力

広い視野に立った
看護観を育てる

地域で行われているボランティア活動等を通して幸仕の心を育て、命の大切さについて考える豊かな人間性を養う。自律した思考に基づいた倫理的な判断力を持ち、広い視野に立った看護観の確立を目指す。
 【専攻科2年】
 ライフステージからみた生命倫理に関するコラボ授業
 【専攻科1年】
 人間関係論によるコミュニケーション講座
 生命倫理に関する授業
 【高校3～専1年】
 復興支援ボランティアスタディツアー
 【高校1～専1年】
 地域活動体験
 倫理に関する授業
 【高校1年】
 SPH花壇整備活動

臨床に即した
看護実践能力を
育てる

個別にICTを活用し、協調学習を組み合わせたアクティブラーニングの実践を通して、自発的な学習を目指し、確かな知識の定着を目指す。
 また、病院等と連携し、知識・技術に基づいた応用力・実践的能力を育てる。
 【高校1年～専攻科2年】
 学年に応じた技術の統合実践の評価法の開発
 【高校2～3年】
 専門家による特別授業
 【高校1～専攻科2年】
 ICTを活用した授業、アクティブラーニングの授業
 （協調学習、シミュレーション）開発

看護の探求、
研究的態度を養う

研究的視点を取り入れた授業や様々な学習活動を通して、課題発見能力や問題解決能力を育てる。看護学の構築・発展に寄与する研究能力を身につけた人材の育成を目指す。
 【専攻科2年】
 看護研究
 【専攻科1年】
 研究についての講義
 【高校3年】
 研究的学習活動
 【高校2年】
 プロジェクト学習の手法を用いた研究的学習活動
 研究の基礎を学ぶ授業
 実験的要素を含んだ授業
 【高校1年】
 実験的要素を含んだ授業
 【高校1～3年】
 大学の指導者による専門性の高い実験・実習授業

病院との
連携

大学との
連携

地域・外
部機関との
連携

学ぶ力

プロジェクト学習を通して課題発見及び課題解決の手法を学び、これを利用して「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」を相互の関連づけ、統合し、「学ぶ力」を「生涯学び続ける力」に育てることを目指す。